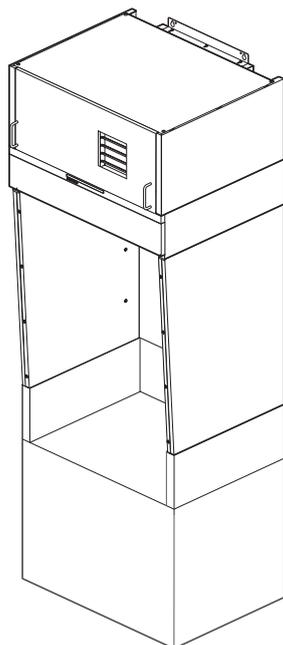


店舗専用

電気フライヤー専用  
室内循環フード

# 取付説明書



## も く じ

安全上のご注意.....	2 ~ 3	2. フードの準備.....	10 ~ 11
取り付け上のお願い.....	4	3. フードの取り付け.....	11 ~ 14
取り付け前の調査と準備.....	5 ~ 6	4. 電気配線.....	14
各部のなまえ.....	7	5. 幕板の取り付け.....	15 ~ 20
製品寸法図.....	8	6. 温度ヒューズ取付状態の確認.....	21 ~ 23
付属品.....	8 ~ 9	7. 取扱説明書の取りはずし.....	23
取り付けかた.....	10 ~ 24	8. 試運転.....	24
1. 付属品の確認.....	10	9. 店舗管理者様への説明.....	24

## ⚠ 警告

使用者、管理者が変わった場合には必ず取扱説明書を読ませ、指導をおこなってください。  
取扱説明書を読まずに操作やお手入れなどをおこなうと、けがや事故の原因になります。

施工管理会社・工事店様へ：  
この取付説明書は取り付け後、  
店舗管理者様へ必ずお渡し  
ください。

取り付け前に「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、  
正しく取り付けをおこなってください。

4203 0482



\* 4 2 0 3 0 4 8 2 \*

# 安全上のご注意

- 取り付けの前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けをおこなってください。
- ここに示した注意事項は、製品を安全に正しく取り付け、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区別しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

 **警告** : 人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。

 **注意** : 人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容。

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

絵表示の例



○ 記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



● 記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

 **警告**

<div style="margin-bottom: 10px;">  <p><b>分解・修理・改造禁止</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造をしないこと 発火・感電したり、異常動作してけがをするおそれがあります</li> </ul> </div> <div style="margin-bottom: 10px;">  <p><b>使用禁止</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 交流 100 V 以外では使用しないこと 火災・感電の原因になります</li> </ul> </div> <div style="margin-bottom: 10px;">  <p><b>埋込禁止</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 室内循環フードの壁への埋め込みはしないこと 漏電した場合、発火するおそれがあります</li> </ul> </div> <div>  <p><b>使用禁止</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 電気フライヤー以外は使用禁止 ガス機器には使用できません 本製品は燃焼発生ガスを浄化できませんので、一酸化炭素中毒の原因になります</li> </ul> </div>	<div style="margin-bottom: 10px;">  <p><b>アースを取り付ける</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● アースを確実に取り付けること 故障や漏電のときに感電するおそれがあります アースの取り付けは施工管理会社にご相談ください</li> </ul> </div> <div style="margin-bottom: 10px;">  <p><b>換気をする</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 燃焼器具と併用して使用する場合は、必ず換気をする 本製品は屋外への排気および換気をおこないません ガス機器等の燃焼器具を使用する場合、必ず別途換気をおこなってください 一酸化炭素中毒の原因になります</li> </ul> </div> <div>  <p><b>取付注意</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って法的有資格者が工事をおこなうこと 誤った配線工事は感電や火災の原因になります</li> </ul> </div>
---	---

2

# 安全上のご注意

## 警告



取付注意

- 電源は専用コンセントおよびブレーカーを設けること  
火災・故障の原因になります



取付注意

- 室内循環フードと可燃物との間を 10cm 以上離すか、不燃材料を使用して可燃物を覆うこと  
火災などの原因になります  
詳しくは、所轄の消防署にお問い合わせください



取付注意

- 室内循環フードは、薄板の金属部（壁内ラス網など）と接触しないよう取り付けること  
漏電した場合、発火するおそれがあります

## 注意



使用禁止

- 浴室など湿気の多い場所では絶対に使わないこと  
(浴室用換気扇をお使いください。)  
感電および故障の原因になります



使用禁止

- 施工時に換気目的で本製品を運転しないこと  
内装工事等で有機溶剤（塗料・シンナー・ボンド等）を使用中や使用直後に運転すると、脱臭フィルター等に吸着・蓄積され、実際の運転中に薬剤成分・臭いが吹出し口から放出され、健康を害するおそれがあります  
施工時は別途換気をおこなってください



取付禁止

- 周囲温度が 40℃ 以上になるところには取り付けないこと  
火災・故障の原因になります



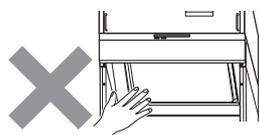
禁止

- 製品の上に乗ったり、重いものを載せないこと  
製品の変形や落下によるけがなどの原因になります



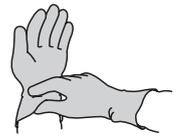
接触禁止

- 運転中は指や物を絶対に入れないこと  
けがをするおそれがあります



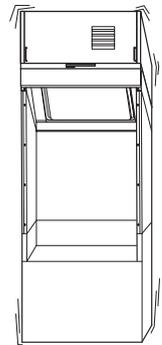
手袋をする

- 取り扱いの際は、必ず厚手の手袋をすること  
鋼板の切り口や角でけがをするおそれがあります



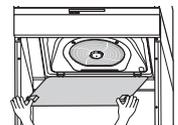
取付注意

- 室内循環フードの取り付けは、十分強度のあるところを選んで確実におこなうこと  
落下によりけがをするおそれがあります



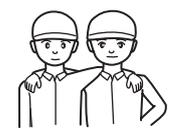
取付注意

- 部品の取り付けは確実におこなうこと  
落下によりけがをするおそれがあります



取付注意

- 作業は 2 人以上でおこなうこと  
室内循環フードは約 67kg の重さがあります



# 取り付け上のお願

- 下記は「建設工事」に区分され、関連する法令、規定に従って法的有資格者がおこなう必要があります。

- **大工工事**

【設置のための下地工事等】

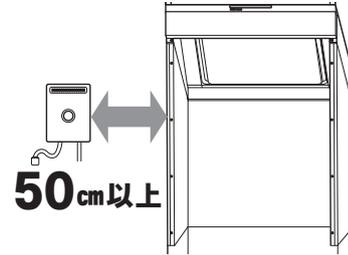
- **配線工事**

【コンセントの設置、コンセント・コネクター  
利用以外の配線接続等】

流通業者（施工管理会社）を通して組立・設置する場合は、「建設工事」とそれ以外の「組立・設置」を区別しておこなってください。

- 電気フライヤーの幅は室内循環フードの幅以内のものをご使用ください。  
電気フライヤーは室内循環フードの前面より手前にはみ出して設置しないでください。捕集性能が低下します。
- 製品は調理機器の真上に取り付けてください。

- 室内循環フード下部には、湯沸器を絶対に取り付けしないでください。また、横方向 50cm 以上離して取り付けてください。湯沸器の真上は高熱になるため故障の原因になります。



- 製品仕様を改造してのご使用は絶対におやめください。
- 建物が密閉されている場合は必ず、空気取入口を設けてください。
- 汚れを除去する際は、シンナー等の有機溶剤を使用しないでください。  
塗装面が変色したり、はがれたりすることがあります。

# 取り付け前の調査と準備

## 警告



分解・修理・  
改造禁止

- 修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造をしないこと  
発火・感電したり、異常動作してけがをするおそれがあります



埋込禁止

- 室内循環フードの壁への埋め込みはしないこと  
漏電した場合、発火するおそれがあります



取付注意

- 室内循環フードは、薄板の金属部（壁内ラス網など）と接触しないよう取り付けること  
漏電した場合、発火するおそれがあります



取付注意

- 電源は専用コンセントおよびブレーカーを設けること  
火災・故障の原因になります

## 注意



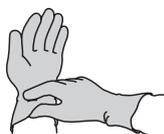
取付禁止

- 周囲温度が40℃以上になるところには取り付けないこと  
火災・故障の原因になります



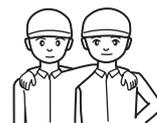
手袋をする

- 取り扱いの際は、必ず厚手の手袋をすること  
鋼板の切り口や角でけがをするおそれがあります



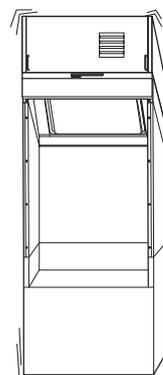
取付注意

- 作業は2人以上でおこなうこと  
室内循環フードは約67kgの重さがあります



取付注意

- 室内循環フードの取り付けは十分強度のあるところを選んで確実におこなうこと  
落下により、けがをするおそれがあります



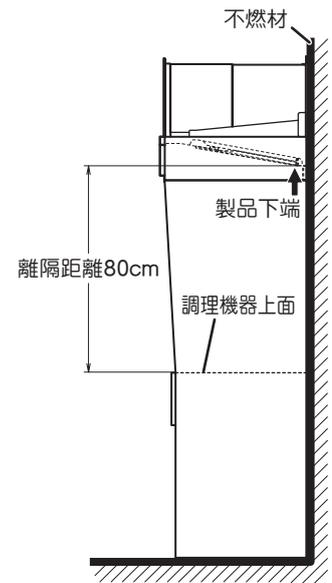
# 取り付け前の調査と準備

## 1 標準取付寸法

本製品の標準取付寸法は、調理機器の上面から製品の下端まで80cm以上です。

### お願い

調理機器の組み合わせおよび地域の火災予防条例により、離隔距離等が異なる場合があります。その場合は条例に従ってください。



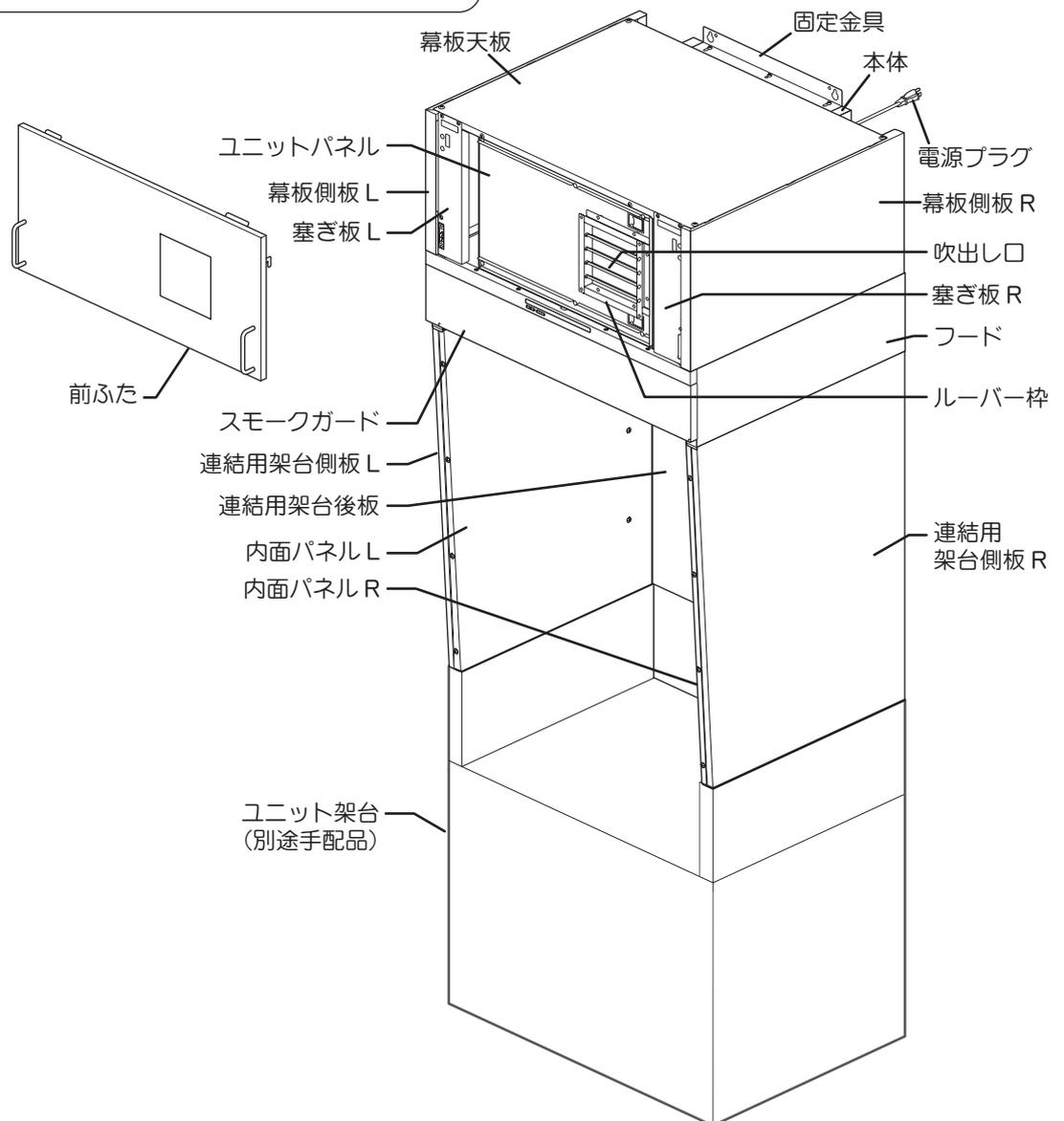
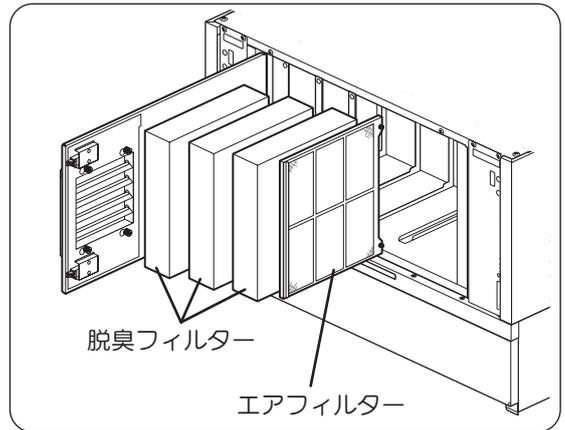
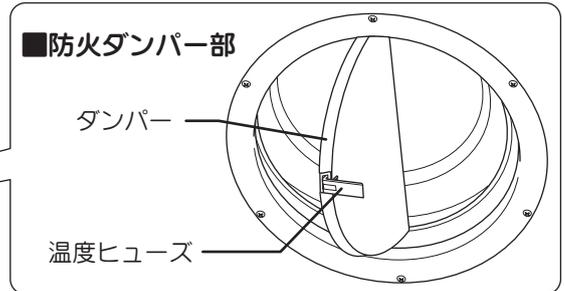
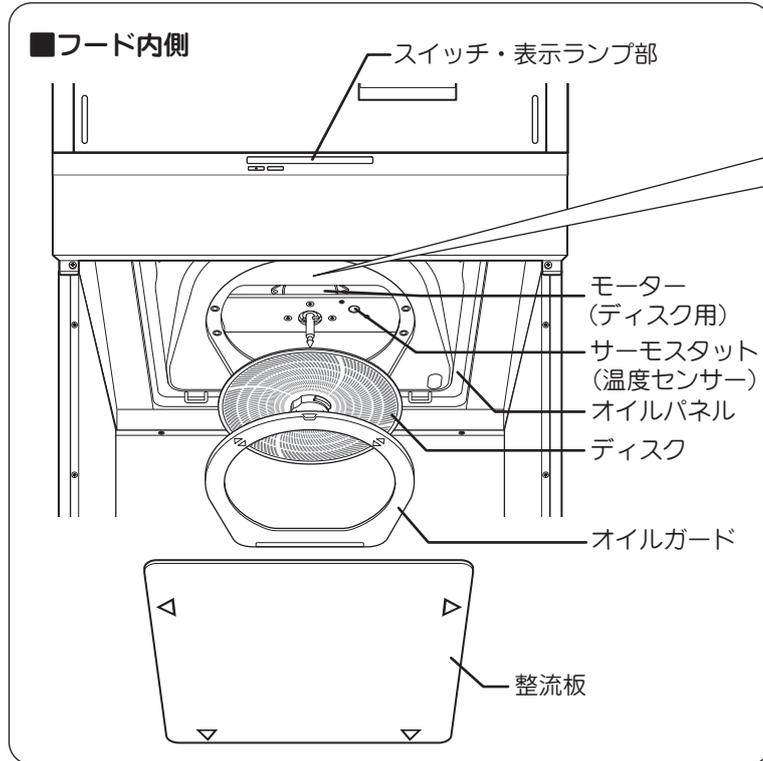
## 2 電源コンセント・ブレーカー

電源コンセント・ブレーカーは専用のものを設置してください。(交流・単相 100V)  
コンセントは、JIS C 8303 2極接地極付差込接続器 15A 125V をご使用ください。

### お願い

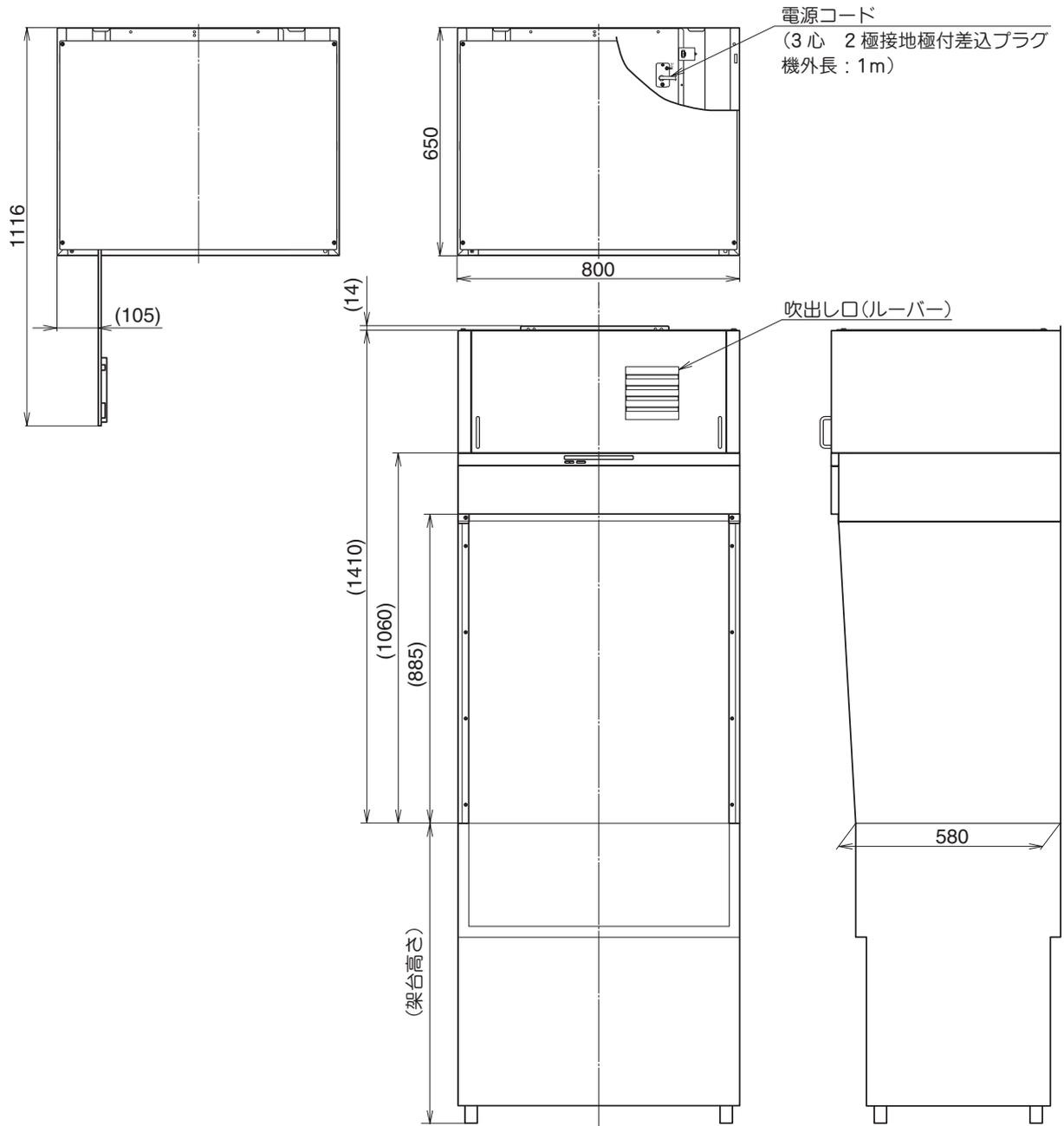
必ずアース工事（D種接地工事）をしてください。室内循環フードが誤作動するおそれがあります。

# 各部のなまえ

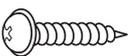


# 製品寸法図

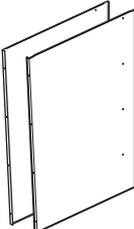
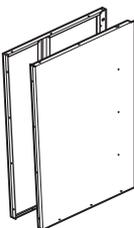
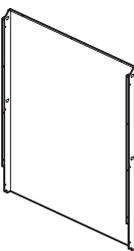
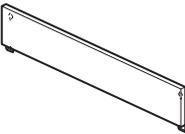
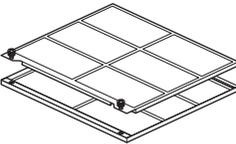
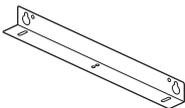
(単位：mm)

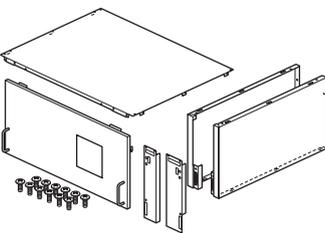


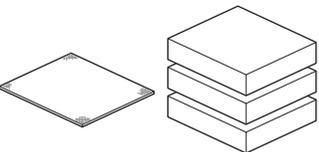
# 付属品

	低頭ねじ (M4 × 8) (16本)	内面パネルの取り付けに使用します。
	トラスねじ (M4 × 10) (24本)	固定金具および連結用架台とフードの取り付けに使用します。
	トラスねじ (M4 × 12) (2本)	スモークガードの取り付けに使用します。
	座付ねじ (Φ 5.1 × 45) (2本)	本体の固定に使用します。

# 付属品

	<p>内面パネル R/L (各 1 枚)</p>	<p>連結用架台に取り付けて使います。</p>
	<p>連結用架台 側板 R/L (各 1 枚)</p>	<p>フードの取り付けに使います。</p>
	<p>連結用架台 後板 (1 枚)</p>	<p>フードの取り付けに使います。</p>
	<p>スモークガード (1 個)</p>	<p>フードに取り付けて使います。</p>
	<p>フィルターケース (1 個)</p>	<p>フィルターセットのエアフィルターを 入れて使います。</p>
	<p>固定金具 (1 個)</p>	<p>本体の固定に使います。</p>

	<p>幕板セット (OSF-MS-8350)</p> <p>塞ぎ板 R/L (各 1 枚) 幕板天板 (1 枚) 幕板側板 R/L (各 1 枚) 前ふた (1 個) 低頭ねじ (M4 × 8) (12 本) 座付ねじ (φ 5.1 × 45) (2 本)</p>	<p>幕板組立に使います。</p>
---	--	-------------------

	<p>フィルターセット (OSFRK-29290)</p> <p>脱臭フィルター (3 枚) エアフィルター (1 枚)</p>	<p>循環ユニットに入れて使います。</p>
---	--	------------------------

# 取り付けかた

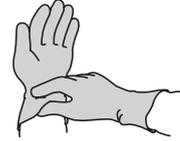
## 1. 付属品の確認

### ⚠ 注意



手袋をする

- 取り扱いの際は、必ず厚手の手袋をすること  
鋼板の切り口や角でけがをするおそれがあります



付属品を確認します。

梱包箱から付属品を取り出し、前ページの付属品一覧により不足がないか確認します。

### お願い

- ・ 取付作業の際はキズ・破損のないように十分注意してください。
- ・ 床で作業する場合、本体および床にキズをつけないため、必ずシートを敷いた上で作業をおこなってください。

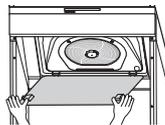
## 2. フードの準備

### ⚠ 注意



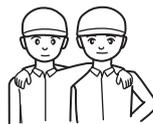
取付注意

- 部品の取り付けは確実に  
おこなうこと  
落下により、けがをする  
おそれがあります



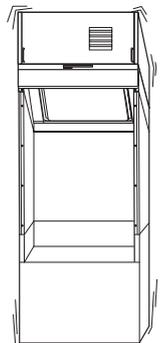
取付注意

- 作業は2人以上でおこなう  
こと  
室内循環フードは約 67kg  
の重さがあります



取付注意

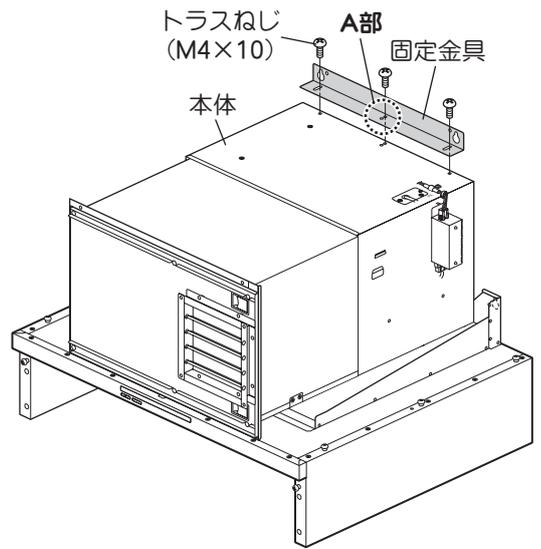
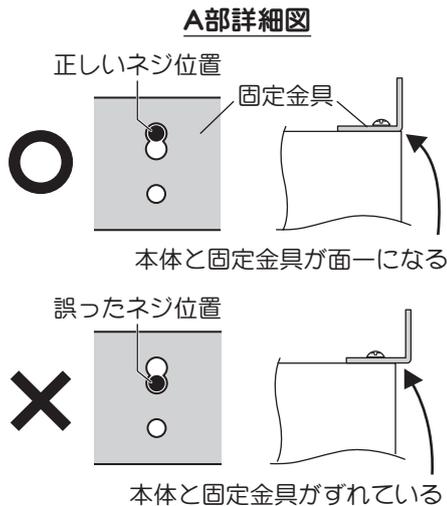
- 室内循環フード  
の取り付けは十分強度のあるところ  
を選んで確実に  
おこなうこと  
落下により、けが  
をするおそれ  
があります



# 取り付けかた

## 固定金具を取り付けます。

本体天面の後部に固定金具をトラスねじ (M4 × 10) 3本で取り付けます (固定金具の取付穴に注意)。



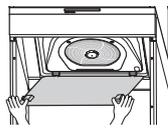
## 3. フードの取り付け

### ⚠ 注意



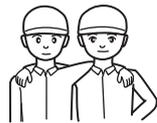
取付注意

- 部品の取り付けは確実に  
おこなうこと  
落下により、けがをする  
おそれがあります



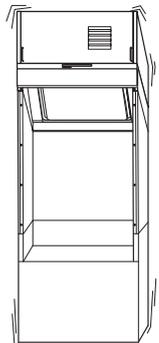
取付注意

- 作業は2人以上でおこなう  
こと  
室内循環フードは約 67kg  
の重さがあります



取付注意

- 室内循環フード  
の取り付けは十分強度のある  
ところを選んで確実に  
おこなうこと  
落下により、けがをする  
おそれがあります



## 1 ユニット架台 (既設置済み) を確認します。

- 1) ユニット架台の左右固定面に損傷等がないか確認してください。

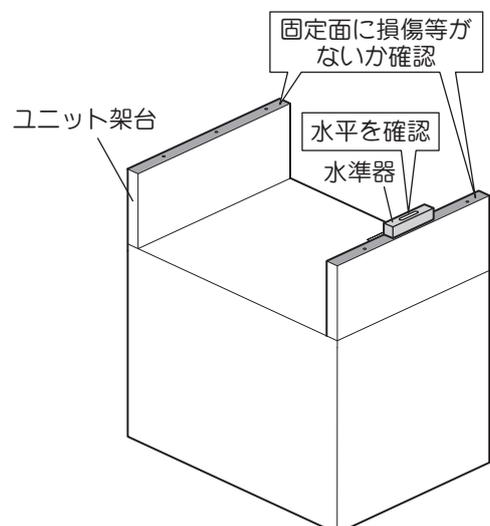
### お願い

ユニット架台の固定部ですべての製品重量を支えるため、破損等がないことを確認してください。

- 2) 水準器等を使ってユニット架台の水平を測定します。水平でない場合はきちんと水平になるよう適宜調整してください。(調整方法はユニット架台の取扱説明書を参照してください。)

### お願い

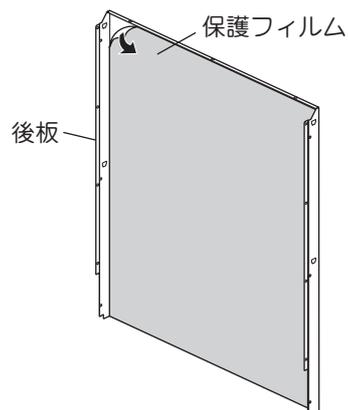
水平出しは確実にこなってください。ユニット架台が水平に設置されていないと、製品を正しく取り付けることができません。



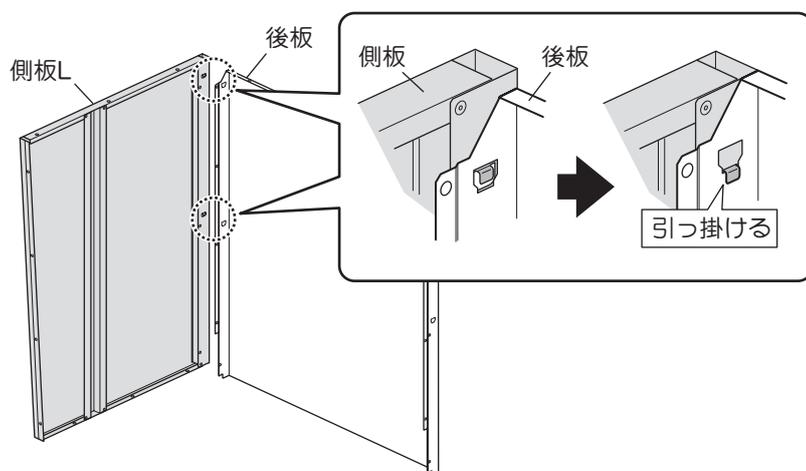
# 取り付けかた

## 2 連結用架台を組み立てます。

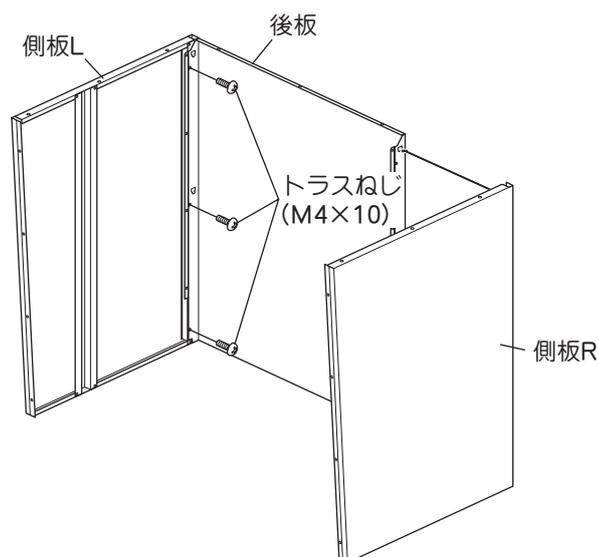
1) 後板の保護フィルムをはがします。



2) 後板に側板のツメ（2ヶ所）を引っ掛け、仮固定します。



3) 付属のトラスねじ（M4 × 10）3本で、側板を後板に固定します。



4) もう一方の側板も同様の手順で後板に固定します。

# 取り付けかた

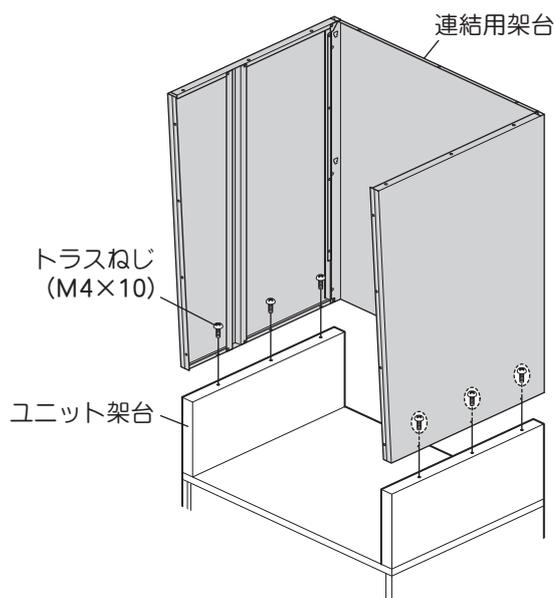
## 3 連結用架台を取り付けます。

ユニット架台の上に組み立てた連結用架台を面合わせで載せ、付属のトラスねじ (M4 × 10) 6 本で取り付けます。

※ 側板は保護フィルムが貼ってあるものがあります。その場合、はがしてから取り付けてください。

### お願い

- ユニット架台と連結用架台は、ズレがないよう確実に面合わせをして取り付けてください。
- 必ず 2 人以上で作業をおこなってください。連結用架台がしっかりと取り付けられるまでは非常に不安定ですので、特にご注意ください。落下によりけがをするおそれがあります。
- 取り付け後は連結用架台が確実に取り付けられていることを確認してください。ガたつきなどがある場合は、市販のねじを使用して、さらに数ヶ所固定してください。



## 4 フードを取り付けます。

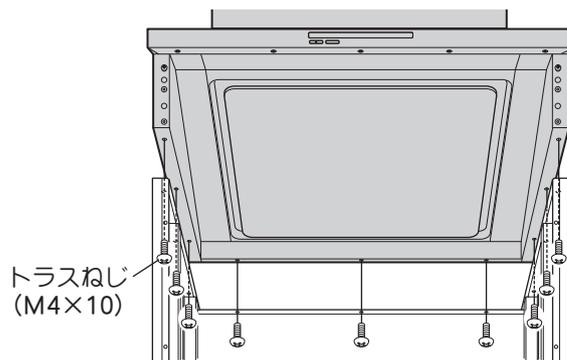
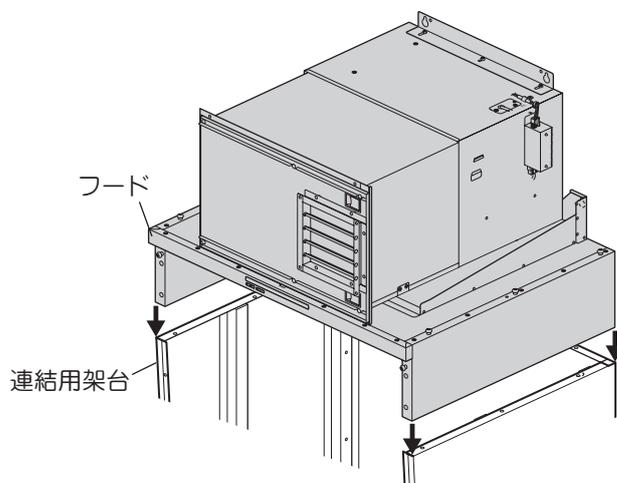
1) フードを連結用架台の上に面合わせで載せます。

※ フードは保護フィルムが貼ってあるものがあります。その場合、はがしてから取り付けてください。

### お願い

- フードはズレがないよう確実に面合わせをして載せてください。
- 必ず 2 人以上で作業をおこなってください。フードがしっかりと取り付けられるまでは非常に不安定ですので、特にご注意ください。落下によりけがをするおそれがあります。

2) フード下側から、フードの側面および背面を付属のトラスねじ (M4 × 10) 各 3 本でそれぞれ固定します。



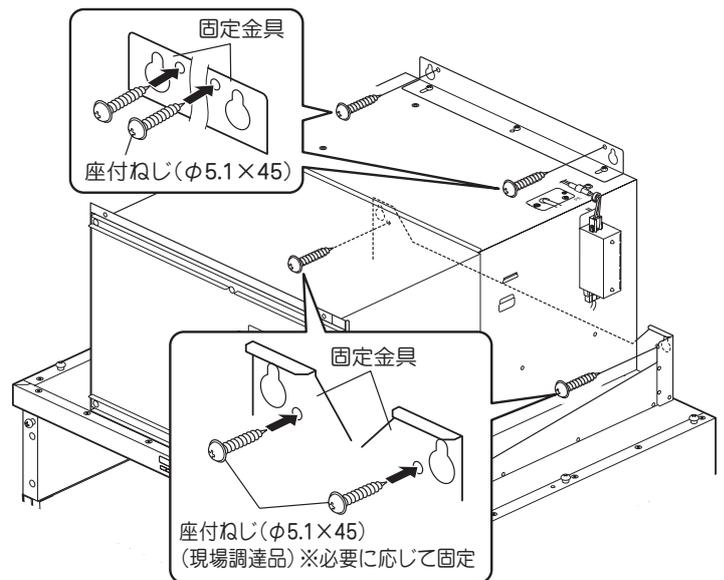
# 取り付けかた

3) 座付ねじ(φ 5.1 × 45) 2本で本体天面の固定金具を壁面等に固定します。

※ フード部左右の固定金具の固定は任意です。固定する場合は右図の穴位置に座付ねじ(φ 5.1 × 45) 2本(現場調達品)を使用して固定してください。

## お願い

- 固定金具を座付ねじで壁面に固定する場合、壁内配線をキズつけるおそれがあります。必ず配線位置をご確認の上、固定をおこなってください。



## 4. 電気配線

### 警告



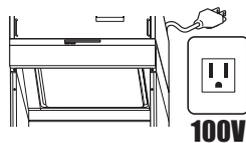
分解・修理・  
改造禁止

- 修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造をしないこと  
発火・感電したり、異常動作してけがをするおそれがあります



使用禁止

- 交流 100 V 以外では使用しないこと  
火災・感電の原因になります



取付注意

- 配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って法的有資格者が工事をおこなうこと  
誤った配線工事は感電や火災の原因になります



アースを  
取り付ける

- アースを確実に取り付けること  
誤作動の原因になります  
また、故障や漏電のときに感電するおそれがあります  
アースの取り付けは施工管理会社にご相談ください

分電盤のブレーカーを「切」にし、電源プラグをコンセントに差し込みます。

## お願い

- 電源は専用のコンセント(2極接地極付差込接続器 15A、125V)およびブレーカーを設けてください。
- 「8. 試運転」(24 ページ)までブレーカーは「入」にしないでください。
- コンセントは電源コードの長さ(機外長約 1m)を考慮し、設置してください。

# 取り付けかた

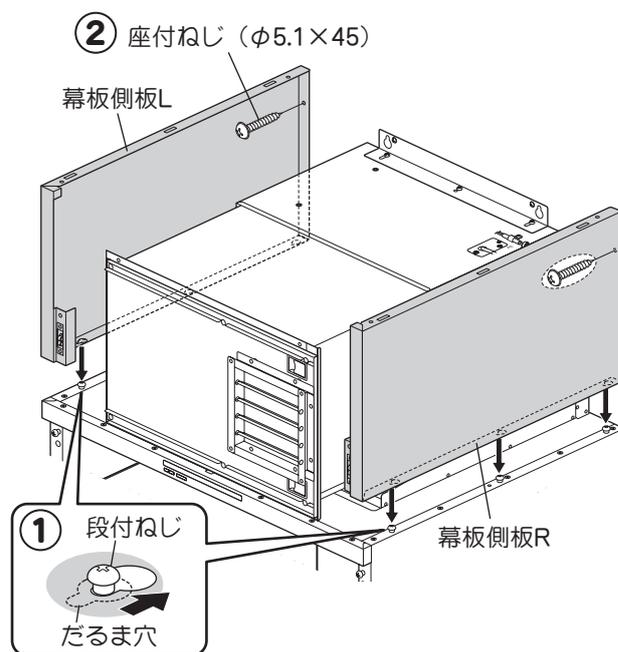
## 5. 幕板の取り付け

### 1 幕板側板を取り付けます。

#### お願い

- ・必ず分電盤のブレーカーを「切」にしてからおこなってください。
- ・必ずアース工事（D種接地工事）をしてください。
- ・幕板組立内部にコンセントを設置している場合、幕板組立を取り付けたあとは電源プラグの抜き差しはできなくなります。

- 1) フードの段付ねじ（左右各3ヶ所）に幕板側板下部のだるま穴が合うようにして載せ、後方に止まるまでスライドさせます（①）。
- 2) 幕板側板の後方を座付ねじ（φ5.1×45）各1本で壁面に固定します（②）。



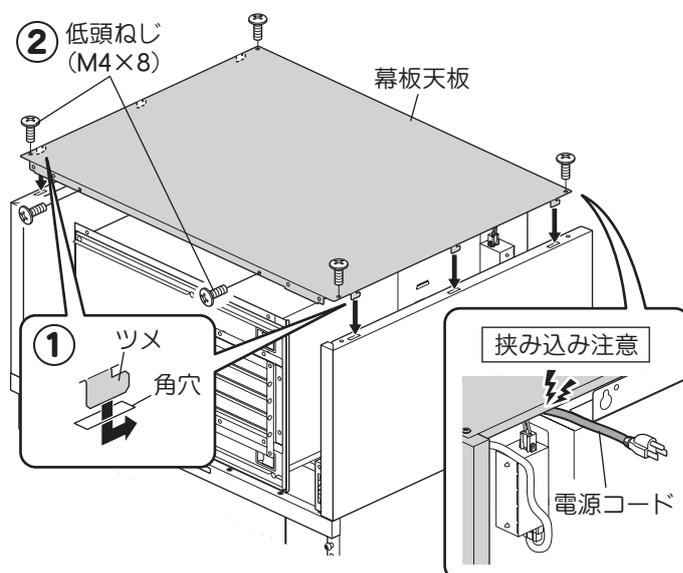
### 2 幕板天板を取り付けます。

- 1) 幕板側板上面の角穴（左右各3ヶ所）に幕板天板のツメを入れ、後方に止まるまでスライドさせます（①）。

#### お願い

- ・幕板側板に幕板天板を載せる際は、電源コードを挟み込まないようにご注意ください。
- ・幕板天板のツメ（6ヶ所）すべてが角穴に収まったことを確認してからスライドさせてください。

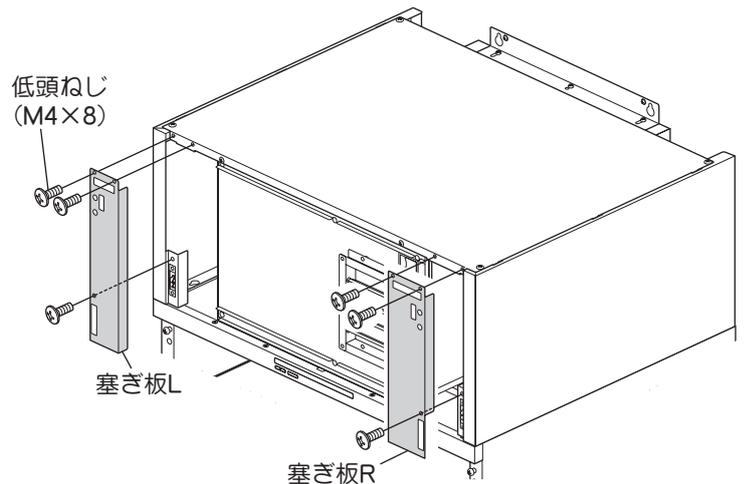
- 2) 低頭ねじ（M4×8）6本で幕板天板の四隅と前面を固定します（②）。



# 取り付けかた

## 3 塞ぎ板を取り付けます。

塞ぎ板を低頭ねじ (M4 × 8) 各 3 本で右図位置にそれぞれ取り付けます。



### ■天井とのすき間が狭く、幕板側板・幕板天板の取り付けが困難な場合

幕板側板・幕板天板を組み立ててから、本体に取り付けてください。

- 1) 幕板側板上面の角穴 (左右各 3ヶ所) に幕板天板のツメを入れ、後方に止まるまでスライドさせます (①)。

#### お願い

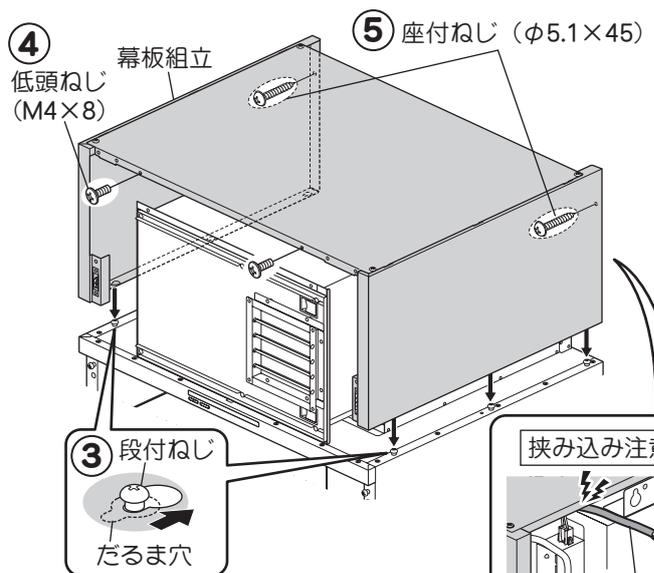
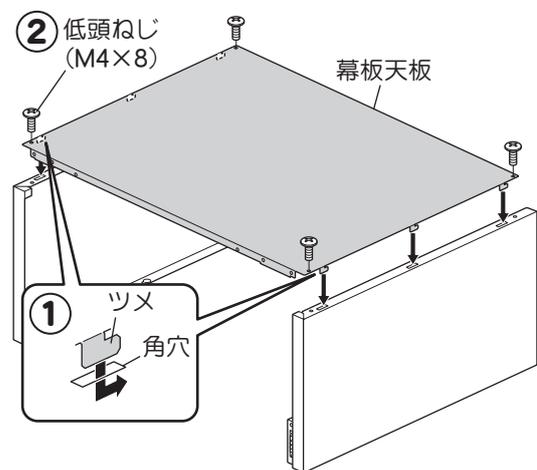
・幕板天板のツメ (6ヶ所) すべてが角穴に収まったことを確認してからスライドさせてください。

- 2) 低頭ねじ (M4 × 8) 4 本で幕板天板の四隅を固定します (②)。
- 3) 幕板組立 (組み立てた幕板側板と幕板天板) を、フードの段付ねじ (左右各 3ヶ所) と幕板組立下部のだるま穴が合うようにして載せ、後方に止まるまでスライドさせます (③)。

#### お願い

・フードに幕板天板を載せる際は、電源コードを挟み込まないようにご注意ください。

- 4) 低頭ねじ (M4 × 8) 2 本で幕板天板の前面を固定します (④)。
- 5) 幕板組立の後方を座付ねじ (φ 5.1 × 45) 各 1 本で壁面に固定します (⑤)。
- 6) 塞ぎ板を低頭ねじ (M4 × 8) 各 3 本で取り付けます。(上記手順 3 参照)



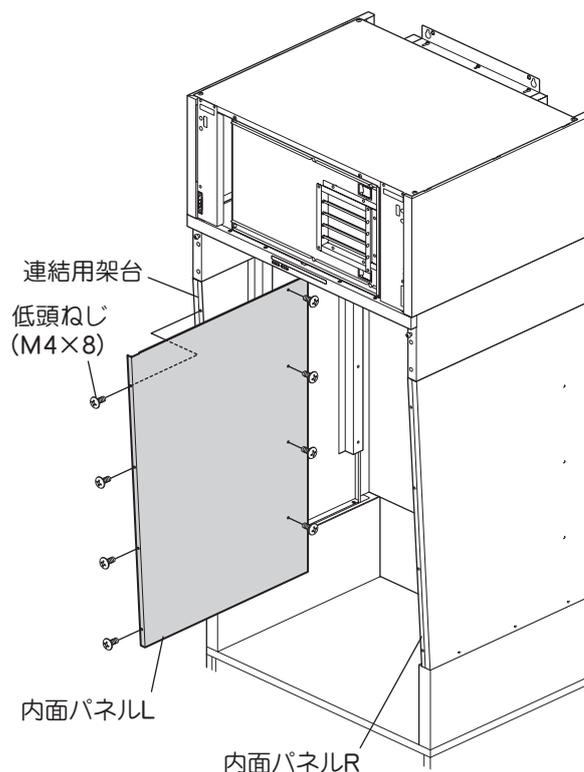
挟み込み注意

電源コード

# 取り付けかた

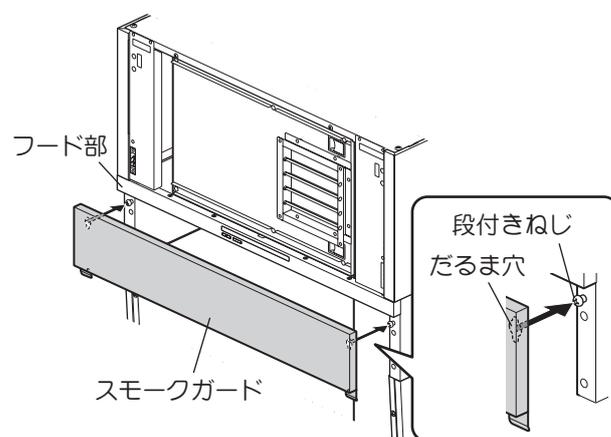
## 4 内面パネルを取り付けます。

- 1) 内面パネルの保護フィルムをそれぞれはがします。
- 2) 連結用架台の内側側面に、内面パネルを付属の低頭ねじ (M4 × 8) 各 8 本で取り付けます。

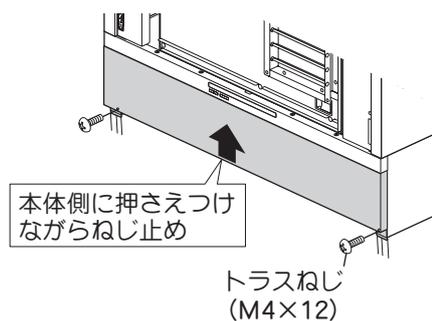


## 5 スモークガードを取り付けます。

- 1) フード前面の段付きねじ 2 本にスモークガードのたるま穴を引っ掛けます。  
※ スモークガードに保護フィルムが貼ってあるものがあります。その場合、はがしてから取り付けてください。



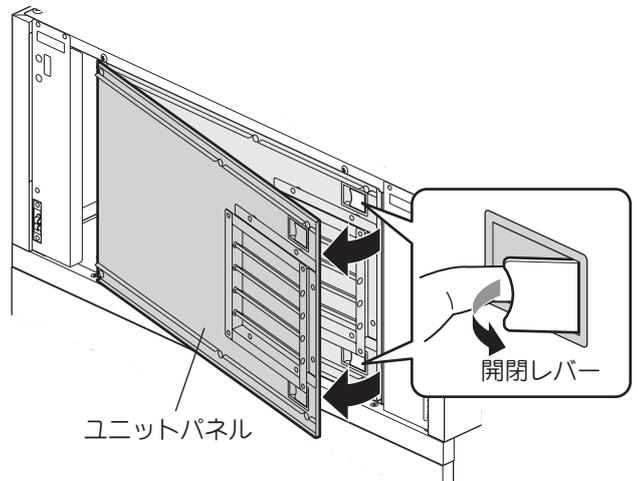
- 2) スモークガードをフード側に押さえつけながら上方に持ち上げ、付属のトラスねじ (M4 × 12) 2 本で取り付けます。



# 取り付けかた

## 6 脱臭フィルター・エアフィルター (OSFRK-29290) を取り付けます。

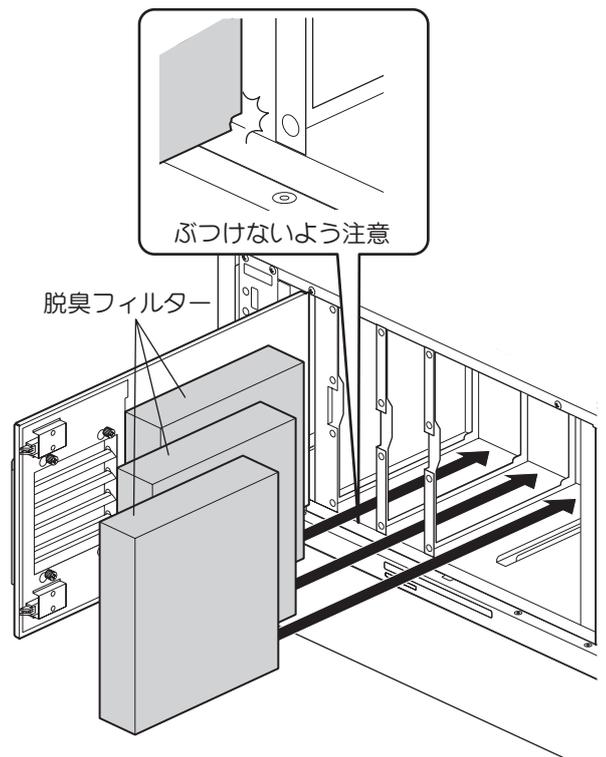
- 1) ユニットパネルの開閉レバーを引いてユニットパネルを手前に開きます。



- 2) 脱臭フィルター（3枚）をフレーム枠等にぶつけないよう注意しながら、ゆっくりと挿入します。

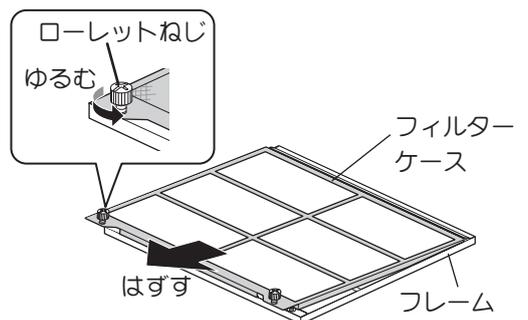
### お願い

- 各種フィルター類の取り扱いには十分ご注意ください。落下させたり強くぶつかけたりすると、フィルターが破損するおそれがあります。
- フィルターの粉が落ちる場合があります。粉が衣服等に付着した場合、落ちなくなることがありますので取り扱いには十分注意してください。

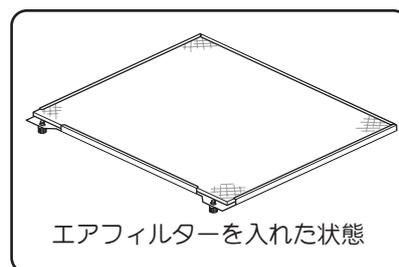
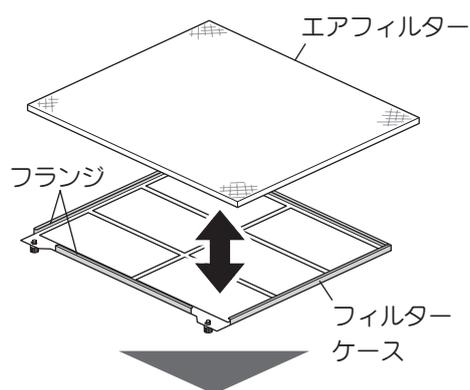


# 取り付けかた

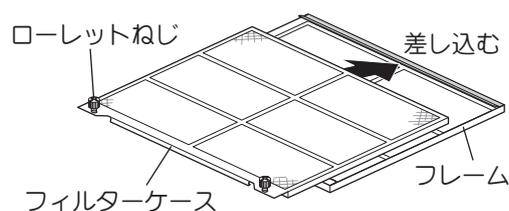
3) ローレットねじ2本をゆるめ、フレームからフィルターケースを取りはずします。



4) フィルターケースのフランジに合わせてエアフィルターを取り付けます。

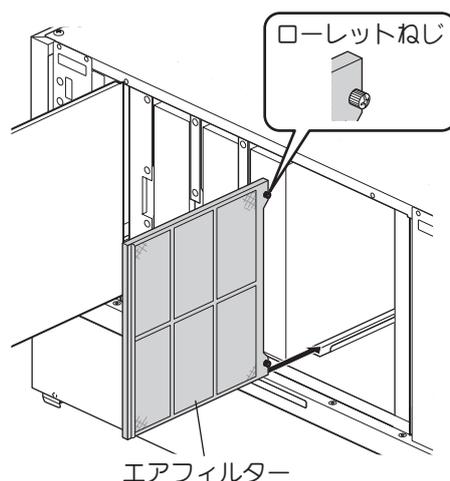


5) 右図のようにフィルターケースをフレームに差し込み、ローレットねじを締め付けて固定します。



6) エアフィルターを右図の向きでフレーム内部の溝に沿って挿入します。

7) 取り付け後、ユニットパネルを閉じます。  
開閉レバーから「パチン」と音がするまで閉めてください。きちんと閉まっていると開閉レバーは平らになります。



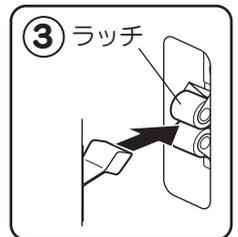
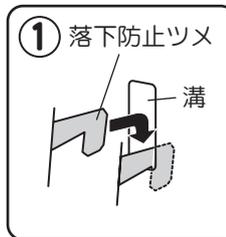
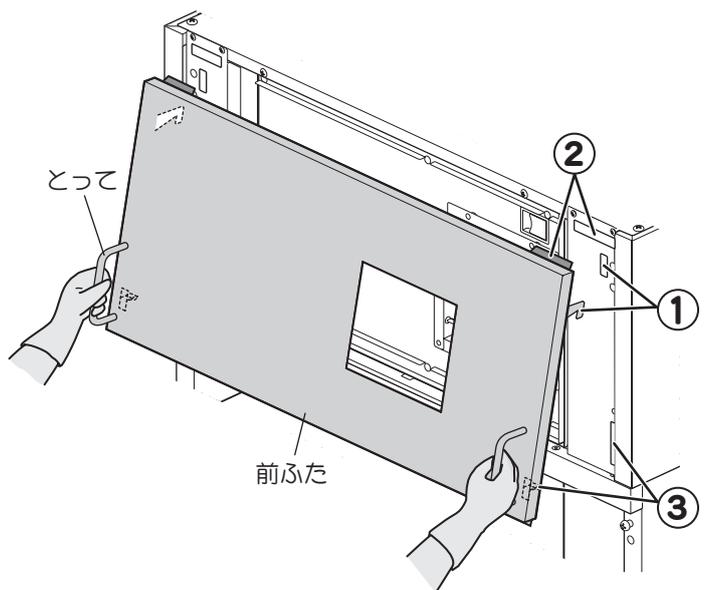
## お願い

- エアフィルターを本体に取り付ける際は、必ずローレットねじが右図の位置になるようにして取り付けてください。異なる向きで取り付けた場合、脱臭フィルターをキズつけるおそれがあります。

# 取り付けかた

## 7 前ふたを取り付けます。

- 1) 前ふた上部両端にある落下防止ツメを溝に差し込んで引っ掛けます (①)。
- 2) 前ふたを持ち上げて、上部 2ヶ所のツメを差し込みます (②)。
- 3) ラッチで固定されるよう前ふたのとってを押し込み、前ふたを固定します (③)。



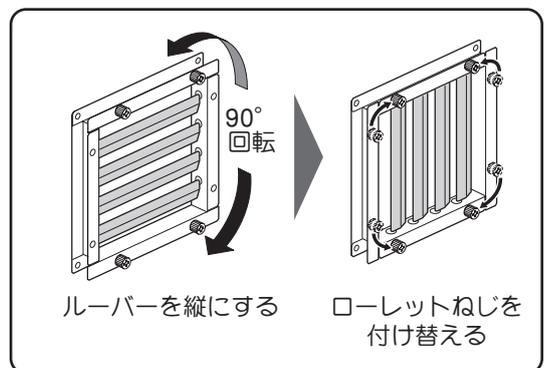
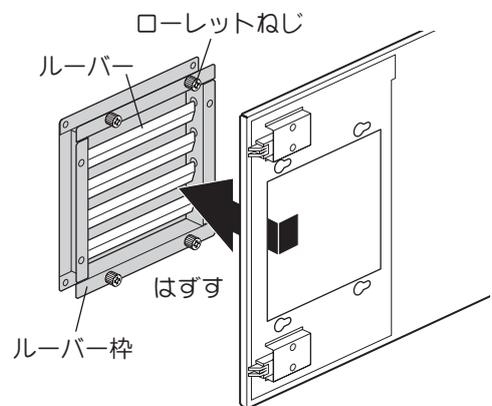
## ■ ルーバー方向について

ユニットパネルのルーバーで、風の吹出し方向の調整ができます。調整後も吹出し口からの風が気になる等で風向を変えたい場合は、ルーバー枠を付け替えることができます。

※ ルーバー枠を付け替える際は、必ずルーバーを閉じた状態でおこなってください。ルーバーを開いた状態での取り付け・取りはずしはできません。

### ルーバー枠を付け替えるとき

- 1) ユニットパネルを開き、ルーバー枠を固定しているローレットねじ(4本)をゆるめたあと、ルーバー枠を右図のようにスライドさせて取りはずします。
- 2) ルーバーが縦方向になる向きにして、ローレットねじ(4本)を付け替えます。
- 3) ルーバー枠をユニットパネルに取り付け、ローレットねじ(4本)をしっかりと締め付けます。

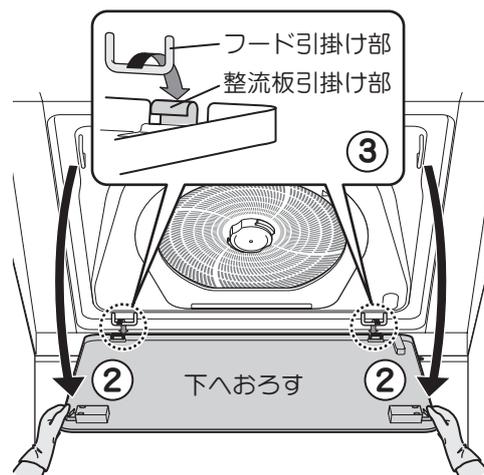
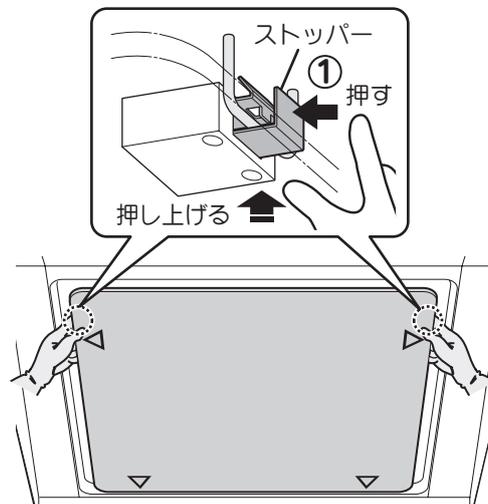


# 取り付けかた

## 6. 温度ヒューズ取付状態の確認

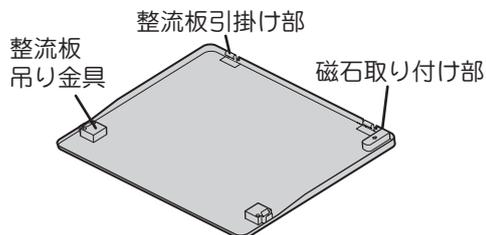
### 1 保護用クッション材を取りはずし、整流板をはずします。

- 1) 整流板を両手で支え、少し押し上げるようにして整流板の(◁▷)マークの左右にあるストッパーを押してははずします(①)。
  - 2) 整流板を両手で支えながら、下へゆっくりとおろします(②)。
  - 3) 右下図のような位置で整流板の後ろを持ち上げ、フード引掛け部からははずします(③)。
- ※ 必ず左右同時にはずしてください。  
金具の変形の原因になります。



#### お願い

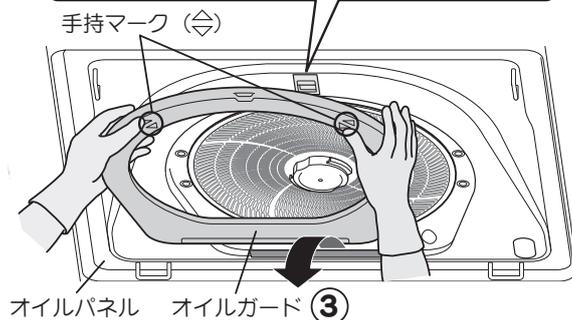
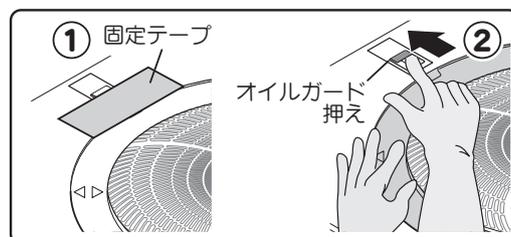
- ・整流板の取りはずしと取り付けの際は、整流板引掛け部、磁石取り付け部、および整流板吊り金具を変形させないようにご注意ください。  
変形させてしまった場合、整流板が取り付けられなくなるおそれがあります。



- ・整流板の磁石をはずさないでください。  
また他の磁石や磁性体等を近づけないでください。

### 2 オイルガードをはずします。

- 1) 固定テープをはがし(①)、オイルガードの手持マーク(⇨)近くを手で支えながらオイルガード押えを手前に軽く引き(②)、オイルガードの前側をオイルパネルからははずします。
- 2) オイルガードの手持マーク近くを両手でしっかりと持ち、水平に保ちながら手前に引いてオイルパネルからははずします(③)。



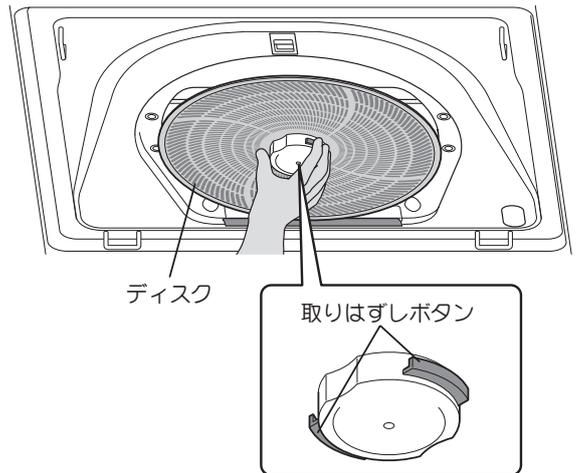
オイルパネル オイルガード ③

# 取り付けかた

- 3** ディスクをはずします。  
ディスクの中央にある取りはずしボタンを押しながら、そのまま下へ引き出します。

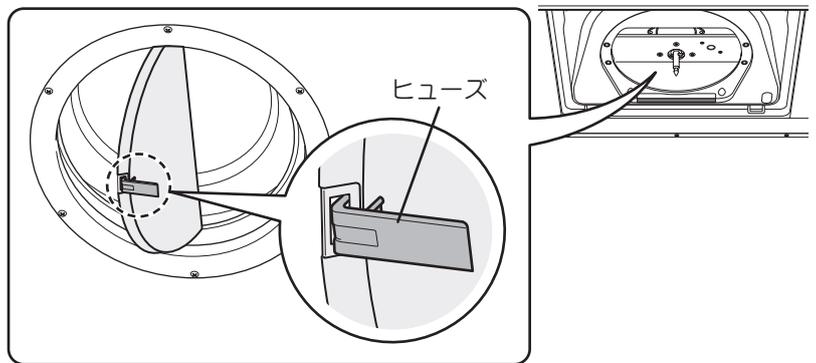
## お願い

ディスクを落としたりして変形させないでください。(異音や振動の原因になります。)



- 4** 温度ヒューズの取付状態を確認します。

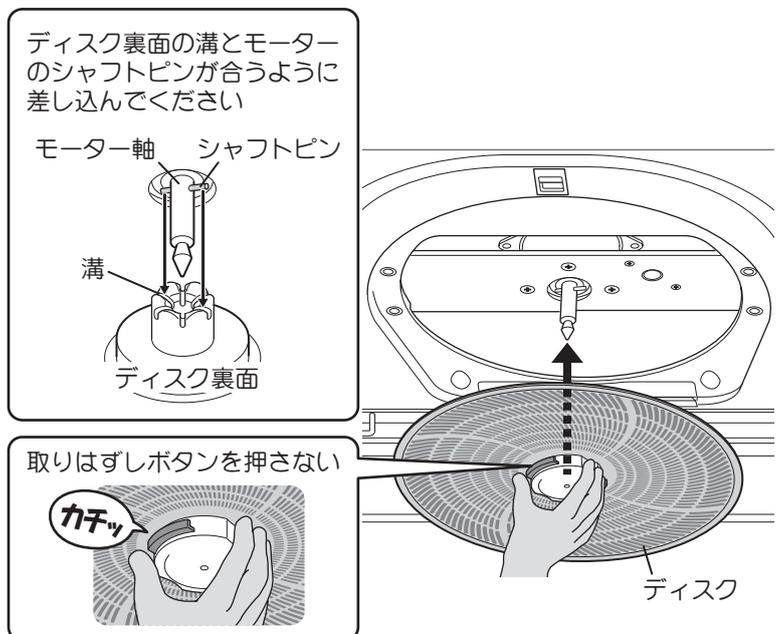
ダンパーに温度ヒューズが取り付けられ、ダンパーが開いていることを確認してください。



- 5** ディスクを取り付けます。

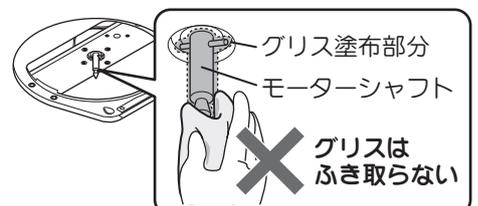
取りはずしボタンを押さずにディスクを持ち、裏面の溝をモーターのシャフトに差し込み、「カチッ」と音がするまで押し上げます。

取り付け後、ディスクを少しひっぱり、はずれないことを確認してください。



## お願い

- ・ディスクの固定は確実におこなってください。不完全な取り付けは落下の原因になります。
- ・モーターシャフトについているグリスはふき取らないでください。モーターシャフトが錆び付くことを防止します。



# 取り付けかた

## 6 オイルガードを取り付けます。

オイルガードを両手で支えながら奥側の受け金具に差し込み（①）、前側を押し上げて取り付けます（②）。

※ 前側は「カチッ」という音がするまで上に押し込んでしっかりと固定してください。

### お願い

オイルガードの固定は確実にこなってください。不完全な取り付けは落下の原因になります。



## 7 整流板を取り付けます。

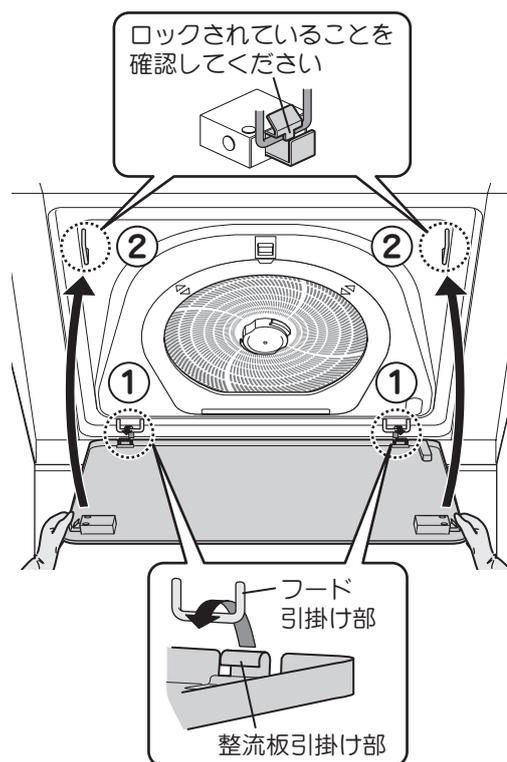
1) 奥側左右の整流板引掛け部をフード引掛け部に確実に引っ掛けます（①）。

2) 整流板を両手で支えながら手前側を「カチッ」という音がするまで上に持ち上げ、固定します（②）。

取り付け後は整流板を上下に動かし、はずれないことを確認してください。

### お願い

整流板の固定は、確実にこなしてください。ロックが不十分ですと落下の原因になります。また、取り付けが不完全な場合は運転ができません。



## 7. 取扱説明書の取りはずし

■ 整流板に貼り付けてある取扱説明書ははずします。

# 取り付けかた

## 8. 試運転

### ⚠ 注意



接触禁止

- 運転中は指や物を絶対に  
入れないこと

けがをするおそれがあり  
ます



使用禁止

- 施工時に換気目的で本製品を運転しないこと

内装工事等で有機溶剤（塗料・シンナー・ボンド等）  
を使用中や使用直後に運転すると、脱臭フィルター  
等に吸着・蓄積され、実際の運転中に薬剤成分・臭  
いが吹出し口から放出され、健康を害するおそれ  
があります

施工時は別途換気をおこなってください

- 分電盤のブレーカーを「入」にし、スイッチを操作して運転状態を確認してください。  
スイッチの操作と運転状態については取扱説明書をご覧ください。
- 必ず最終設置した状態で試運転してください。
- ダンパーに温度ヒューズが取り付けられ、ダンパーが開いていることを確認してください。
- 整流板が正しく取り付けられていないと運転ができません。  
整流板の取り付けについては取扱説明書をご覧ください。
- 運転時、各速度調整による室内循環が正しくおこなわれていることを確認してください。
- 異常な騒音、振動がないことを確認してください。
- 製品の吹出し口から室内に循環され、異音がないことを確認してください。
- 取り付けまたは各種工事にて発生した不具合で修理を依頼されますと全て有料となりますので  
十分確認してください。

## 9. 店舗管理者様への説明

- 取扱説明書によって機器の取り扱いを説明してください。
- 取扱説明書と共に、この取付説明書を必ず店舗管理者様にお渡しください。  
お読みになった後はいつも手元において大切に保管し、必要なときにお読みください。
- 本機器を移設または譲渡するときは、必ず本書を添付してください。  
本書を読まずに操作や整備をおこなうと、ケガや事故の原因になります。  
なお、設計上の標準使用期間を超えて使用することは、経年劣化による重大事故の発生に至る  
おそれがありますので、設計上の標準使用期間を超えた製品の譲渡等はおやめください。
- 本機器は国内専用です。  
本機器は国内専用で設計されています。海外では使用できません。
- 当社の許可なく本書を複製することを禁じます。

### ⚠ 警告

使用者、管理者が変わった場合には必ず取扱説明書を読ませ、指導をおこなってください。  
取扱説明書を読まずに操作やお手入れなどをおこなうと、けがや事故の原因になります。